



やさしさ 勇気 喜び そして 夢

タカラッキー

<http://www.ueis.ed.jp/school/takaragi/>

宝木小学校だより 第24号
令和7年3月25日発行

(発行者 室田 和宏)

卒業・修了おめでとう

～達成感をかみしめて～

“おはようございます！”令和6年度の最終登校日、24日の朝の挨拶はいつもに増して元気な声でした。スクールガードさんからは「さすが最終日はみんな張り切っているね」とお声掛けいただきました。

修了式のために体育館に入ると、子供たちの背筋はピンと伸びて、誇らしそうな表情でした。そして、こんな話をしました。「皆さんの今朝の挨拶は大変明るくて、元気いっぱいでした。明日から春休みになるということ



もあると思いますが、1年間頑張ってきた達成感の表れだと思います。この1年間で勉強した時間は、1年生が950時間、上級生になると1,100時間以上です。児童代表の言葉にもあったように、できるようになったことがたくさんありますね・・・」そして、卒業式で話した、“失敗から生まれたポテトチップス”を紹介しました。「・・・1853年のある日、アメリカ・ニューヨーク州のサラトガというリゾート地のレストランで、一人の客が、『ここのフライドポテトは厚すぎて自分の好みには合わない』と言い出しました。それならばと料理長の ジョージ・クラムは、ジャガイモを薄く切ってフライにしたのですが、その客はまだ気に入らないといいます。怒ったクラムは、ジャガイモを紙のように薄く切り、フォークで刺せないほどパリパリになるまで揚げました。ところが、これが予想外のおいしさで、文句をつけてきた客が、うまいまいと平らげると、ほかの客たちも我先にと競うように注文しました。極薄のフライドポテトは瞬く間に評判となり、「サラトガ・チップス」と名付けられて市販されるようになりました。そして、発案者のクラム料理長は、ポテトチップスを名物にした新しいレストランを開いたそうです・・・これから皆さんが歩いていく道のり、時にはつまずくことも、くじけそうになることもあるでしょう。しかし、「失敗は発明の母」という言葉もあるように 乗り越えた先には 必ずその人にしか見えない景色が広がっています。」 1年間こつこつと積み上げてきた努力の成果を振り返り達成感をしっかりとかみしめ、エネルギーに変えて、4月からの新たなチャレンジに備えて欲しいと願っています。ご家庭でも、お子様たちの成長を話題にしていいただければ幸いです。

保護者の皆様には、この1年間、本校の教育活動につきまして、多大なるご協力とご支援を賜り、心より感謝申し上げます。ありがとうございました。

別れの会



卒業式

